

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

近藤 良弘（茨城県常陸太田市）



【生産概要】（令和5年産） 経営面積 計 150a
エダマメ 40a サトイモ 10a
ハウレンソウ 10a ニンジン 10a
ほか、ミニトマト、ナスなど約30品目

【経営概要】平成24年1月新規就農
令和5年2月有機JAS認証取得
作業従事者
本人、夏季パート（エダマメ袋詰め）2名
野菜の生産・販売



【販売概要】小売店、直売所、道の駅、やさいバスを利用し茨城県内での販売

■有機農業に取り組んだきっかけ

海外で農業開発に関わりたかったことが農業を志すきっかけ。当初は、有機農業に対するこだわりはなかったが、研修先の有機栽培農家での体験で、働くことの楽しさや微生物の面白さに魅力を感じ有機農家として就農した。

■有機栽培の特徴

エダマメは肥料を入れず、作付前の雑草害虫対策として土壌表面をマルチで覆い「太陽熱消毒」をしている。エダマメ以外の作物は、土壌の窒素を多くしないように有機ぼかし、牛ふん堆肥や緑肥（ソルガム）を活用した土づくりにこだわっている。
耕種的防除として、高畝と暗きょやソーラー電池による用排水調整設備を設置して湿害対策などを行うとともに防虫ネットを使用し防虫対策をしている。その効果もあり、作物の品質が安定している。
土質や周囲環境の違う畑を借り、リスクを分散している。

■今後、取り組みたいこと

有機JAS認証を取得したことで有機をPRしながら、インターネット販売など販路の拡大を図り、安全でおいしく、喜ばれる有機野菜をより多くの方々に届けていきたい。



所在地：茨城県常陸太田市小妻町627-2